

特定複合観光施設区域整備計画審査委員会（第20回） 議事要旨

1. 日時：令和5年1月5日（木）14:30～16:30
2. 開催方式：WEB会議
3. 議題：
  - （1）事務局からの説明事項
  - （2）今後の審査の進め方について
4. 出席委員：竹内健蔵委員長、朝岡大輔委員、河島伸子委員、樋口進委員、古谷誠章委員、矢ヶ崎紀子委員
5. 議事要旨（✓：事務局 ○：委員）
  - ✓ 評価基準25、5、6、7、9、1について説明を行った。

【評価基準25について】

- 論点③について、IR事業者の論拠に記載されていた有病率1%の部分は出典が古いほか、異なる有病率の推計値もあることから、この数字を引き合いに出して論述するのはやめた方がよい。また、例えば一般的に有病率が高く出やすいと言われているSOGS（※）の判定基準では日本での有病率は2.2%である一方、米国で約4万3千人を対象にした他の調査だと有病率は0.42%である等、調査統計ごとに調査方法、評価尺度、対象者などが異なるので、異なる国の調査による有病率の推計値や、国内の異なる調査による有病率の推計値を一概に比較することは困難であるため、数値目標を設定するような記載は避けた方がよいのではないかと。

※SOGS(The South Oaks Gambling Screen)

世界的に最も多く用いられているギャンブル依存の簡易スクリーニングテスト

- 大阪の取組は、依存症になった方への対策に寄りすぎていて、予防の観点では取組が少し足りていないのではないかと。
- 論点④について、予防の取組は大事であり、広域的な対策を進めていくこと、大阪府・市等が依存症対策の効果をモニタリングしつつ状況を都度確認していくことが重要。
- データ収集の意味でも、広域的な依存症対策は非常に重要。

【評価基準5について】

- 「オールインワンMICE」という言葉を使うならその定義を書いた上で、審査上判断したことを明確にした方がよい。

- 「オールインワンMICE」について、日本の既存施設の中で近いものはパシフィコ横浜ぐらいではないかと思われ、大阪IRはパシフィコ横浜よりエンタメ性も追加され、優れたものができるように思うが、それが世界水準にあるかというところは判断が難しい。
- MICEについてはハイブリッド化という動向も大事であり、環境負荷を減らす観点から見ても、「適正な規模」という考え方が重要になってくるので、この記述案はよい整理であろう。

【評価基準6について】

- 前回の指摘を踏まえた修正はこれでよいと思う。

【評価基準7について】

- 評価基準5がMICEのハード面を評価するため、ここでは「オールインワンMICE」のソフト面について触れるのがよいのではないか。
- MICE誘致のノウハウについては、IR事業者が有している知見等を大阪府・市に還元することと、それに対し、大阪府・市側も意識的に習得しようとする姿勢を持つことを両方向から記載すべき。

【評価基準9について】

- 論点①について、原案のとおり関西近郊への送客のみとならないよう留意する旨を記載すべき。
- 論点②について、コンシェルジュ機能は、IR施設に来た一般の観光客に意識が集中しているが、MICE参加者の旅程の組み方はこれとは異なるので、MICE参加者の動きに対して、送客施設がどういう機能を果たせるのかも重要であり、その点で顧客セグメントごとへの対応方針がもっと記載されればより評価ができると思う。

【評価基準1について】

- 「コンセプト」について、区域整備計画中の「大阪・関西の文化」に係る記載は、およそ立地都市の文化を謳う際にはどこにでも見られるようなものであるが、観光とは相手に魅力を正しく伝えられて初めて意味があり、その点が踏まえられていない。
- 世界的にMICE施設は高水準の設備を揃えてきており、ハード面ではそれほど差はつかないのが実態の中、MICE誘致に当たっては、営業力や主催者側の意向に添えるオーガナイズ力というソフト面に都市の魅力が加わることが重要となるが、この点、「大阪」を前面に出した今の表現で国際競争力があると言い切れるのか疑問に思う。
- 「水都」の表現について、シンガポール等、他国の水辺にある著名なIRと比べる

と、大阪IRは「水都」のイメージを十分訴えられているのかというと、少し平凡な感じがしており、必ずしも優れていると言えるのか疑問に思う。

- 「水都」という点は、区域全体として見たときに、世界中のIRがある都市は水辺にあることが多い中で、デザインから見ても日本の水都を世界にアピールできているか疑問であり、国際競争力という観点での評価は少し低くなるのではないか。
- 世界が日本をどうイメージしているか、という視点を大事にする必要があり、外国人が日本に持つ「安全」・「安心」・「便利」というようなイメージを高いレベルで具現化することに加え、大阪の都市の魅力も有しているという二層構造になる必要がある。
- MICEの観点から言うと、環境問題への対応が国際競争力上重要であり、また、MICEが果たす人と人を結ぶ役割はコンセプトの「結び」に通ずるものであるため、これらの点も踏まえた記載がより明確になるとよい。

以上